

平成26年度第2回新しい豊かさ協創プロジェクト推進会議 「県民力を高める絆づくり協創プロジェクト」の概要について

平成26年度第2回新しい豊かさ協創プロジェクト推進会議「県民力を高める絆づくり協創プロジェクト」を平成26年12月8日に開催しました。

推進会議には、7名の委員のうち、6名の委員にご出席いただくとともに、会議の進行を補助するファシリテーターとして特定非営利活動法人Mブリッジ理事長の米山 哲司様にご出席いただきました。

なお、推進会議の概要は、以下のとおりです。

「県民力を高める絆づくり協創プロジェクト」委員及びファシリテーター

※敬称略、50音順、カッコ書は役職

- 小堀 正一（三重県視覚障害者協会会員）
高橋 幸照（水土里ネット立梅用水事務局長）
増田 正人（公益社団法人みえ犯罪被害者総合支援センター専務理事）
舛本 大輔（国立大学法人三重大学大学院医学部院生）
宮本 倫明（「美し国おこし・三重」総合プロデューサー）
和田 京子（特定非営利活動法人伊賀の伝丸代表理事）
- ＜ファシリテーター＞
米山 哲司（特定非営利活動法人Mブリッジ理事長）



＜推進会議の進行概要＞

会議の大きな進捗は次のとおり

開会 10:00

戦略企画部企画課長あいさつ

- 1 推進会議の状況について
 - ・平成26年度第1回推進会議の概要
 - ・平成26年度推進会議（全体）の状況
- 2 平成27年度当初予算の要求状況及び平成26年度事業の進捗状況
- 3 平成26年度県民力を高める絆づくり協創プロジェクト事業概要
- 4 意見交換
 - ・共通テーマ：中間支援組織の「機能」と「あり方」
 - 財政面、その他

閉会 12:00

（戦略企画部企画課長あいさつ）

大橋 企画課長から、今回の会議の目的等について説明しました。

- 1 推進会議の状況について
 - ・ファシリテーターの米山さんから平成26年度1回の推進会議の概要を説明いただきました。
 - ・新しい豊かさ協創プロジェクト推進会議（全体）の開催状況を事務局より説明しました。
- 2 平成27年度当初予算の要求状況及び平成26年度事業の進捗状況
 - ・関係各課より県民力を高める絆づくり協創プロジェクト事業の当初予算要求状況等を説明しました。

3 平成26年度県民力を高める絆づくり協創プロジェクト事業概要

- ・関係各課より説明しました。

【委員からの意見】

課題が細分化していく中で、行政が直接課題を解決するのではなく、取り組んでいる団体を支援していくというスタンスに変えていく必要がある。



5 意見交換

共通テーマ：中間支援組織の「機能」と「あり方」(財政面、その他)

委員から出された主な意見は、次のとおりです。

NPOが寄付や会費、助成金だけで資金を集めるには限界があるため企業との連携は欠かせない。

土地改良区が所有する農業用水を使った水力発電を、地産地消型の産官学の事業で行い、地域の6次産業に活用していく予定である。

大学生による実行委員会形式で実施している「命のキャンパス」では、今までは企業に協賛金を求めるだけであったが、企業の持つヒト、モノを活用していくことも必要であると思っている。

障がい者団体、福祉団体の大会等では福祉メーカーとの関連で障がい者を補助する器

具などの提供はあるが、それ以外の企業とつながりが出てこないのが課題である。

通訳や翻訳等のサービスを企業に利用してもらっているが、今後は外国人が観光や地域のサービスを使いたいなどのニーズを企業に情報提供し、企業から支援を受けるということをしていきたいと思っている。

共助や公助については、大学が中間支援組織となって県などつなげてもらっていたが、それがなくなると自分たちで直接つなげなければならない。世代交代していく中でどうつながっていけばよいかという問題があり、つながりやすさというところで支援組織があればと思う。

多面的機能という点では、町有林のカーボンオフセットで企業がCO₂の排出権を購入している。こうした例がCO₂の他にもあるので、制度化すれば企業から支援を受けられると思う。

大学で犯罪被害者の支援について講演をしており、講義を聴いた学生のほとんどは大事なこととってくれるが、自ら活動に参加するところまでは難しい。講演会後に声を掛けて思いのある人を1本づりしているのが現状である。



(ファシリテーター)

企業情報がNPO側にわかりにくいし、中間支援組織団体やNPOが何をしているかも企業に伝わっていないので、その周知などに公の力を貸してもらえると心強いと思う。

横展開していく上での表彰制度や企業への意見が主であったが地域づくりや人づくりは各課共通の話題なので、支え合うパートナーはだれなのかということを含めて、次年度以降の施策に活かしてもらいたいと思う。

次回の開催予定

今回委員から出された意見を今後の施策や事業に反映することにより、「県民力を高める絆づくり協創プロジェクト」を推進していきます。

なお、第3回推進会議は平成27年3月に開催する予定です。